

## 学校経営ビジョン（令和4年度・2022年度）

生徒が未来を切り拓き、よりよく生きていくために学校が果たすべき役割とは「生徒が明るく主体的に活躍できる場と、安心安全の学びの場を機能させること」である。たとえ失敗してもそれを乗り越え、与えられたところで誠実に、まじめにこれからの時代を生き抜く人間力のある生徒諸君の道標となるよう、以下の教育目標を設定し、本校の第2世紀の始まりにふさわしい、「誇り高き 高鍋プライド」を持ちあわせた生徒の育成に邁進する。

### 1 教育目標

明倫堂の精神に、「すべての職務にそれぞれ賢才（才能と知恵を兼ね備えた人）を得て政治を行えば国は治まる。ゆえに治道（政治のしかた）は賢才を（才能と知恵を兼ね備えた人）得るのが根本なのである。学校は人材を育てるところで、その人材がその部署に就けば風俗は改まって善に還り、扉を閉ざさなくても盗むものはなく、道に落ちたものを拾って着服するような者のいない理想国家が実現する。教育の目標はここにある。この学校に学ぶものはこの精神を忘れず、勤めて怠ることなかれ」とある。つまり、「国づくりの基本は人材育成であり、学校は、即ち人材を養成する地である」ことを受け継ぎ、これを本校の教育目標とする。

### 2 基本方針

#### □ めざす学校像

- LA クラスと CI クラスが切磋琢磨する普通科と探究科学科および生活文化科とが一体となり、地域教育の拠点校として、地域に根ざした教育や地域人財の育成に挑戦していく学校
- 創立百周年を節目に、新たな校風や伝統の醸成に挑戦し、「青春を謳歌」することができる学校

#### □ めざす生徒像

- 真：自ら考える態度と学び方を身につけ、目標に挑戦し続ける生徒
- 善：強い意志と実践力を身につけ、社会のために貢献しようとする生徒
- 美：豊かな感性を身につけ、文化の創造・発展に寄与しようとする生徒

#### □ めざす教職員像

- 「明倫堂の教え」を大切にしながら日々の教育活動にあたる教職員
  - \* 「明倫堂の教え」…師範の面々、門人の教育疎かにすることなく、その性質に従い、有用の才、手厚く養育すべきこと
- （先生は、生徒の教育に手抜きやいい加減で不適切な指導があってはならない。生徒の特性、素質に寄り添い優れた才能を引き出し、心を込め熱心に養い育てること。）
- 生徒を見くびらず、やる気にさせて、自己肯定感を育み、自らも謙虚に学び続ける教職員

### 3 令和4年度の重点目標と取組内容

#### (1) 確かな学力の向上と進路実現

- ① 生徒が、自学学習の方法について学び、基礎基本の定着や ICT 教育の活用等にも、自ら進んで取り組むような手立てを講じる。
- ② 生徒が自ら探究し、自己肯定感を育むような双方向の授業・面談の研究を行う。  
(「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く、面白いことをまじめに、まじめなことを愉快地に、そして愉快なことはあくまで愉快地に」(井上ひさし))
- ③ キャリア教育を推進していく中で、高みに挑戦しようとする生徒や人生のミッション実現について考え、難関大学進学や資格取得等にチャレンジするような生徒を育成する。

#### (2) 豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立

- ① 自然に心からのあいさつができ、規則正しい生活習慣の確立に向き合う生徒を育成する。
- ② 人権感覚を身につけ、命を大切にしている生徒を育成する。
- ③ 師弟同行のもと、環境美化や環境整備の充実を図る生徒を育成する。
- ④ 自己有用感・自己肯定感を育むような教育的仕掛けを実践する。

#### (3) 地域に開かれた信頼され活力ある学校づくり

- ① 教育魅力化・広報部を立ち上げ、地域の外部機関や小学校・中学校との連携、積極的な HP, FB の更新、リーフレットやポスター、高鍋高校新聞等の作成による広報活動を充実させる。
- ② 児湯学友団コンソーシアム (KGC) や特に 5 町にある 9 中学校との連携を強化し、地域教育の拠点校としての役割を推進する。
- ③ 伝統的な本校の PTA 活動や同窓会組織との協働的な活動をさらに深化させる。

#### (4) 自主的で自律的な自己の確立と文武両道の推進

- ① 自ら求めて学び、目標高く、勉強、部活動や諸活動に積極的に取り組む校風を醸成する。
- ② 勉強のための勉強、部活動のための部活動という次元を超えた文武両道を推進する。

#### (5) 教職員の資質向上

- ① 日常的な授業研究、研修の場として工夫された教科会の運営、共通テストや難関大学の入試問題の研究等をとおして、総合的な教科指導力 (教材研究力・授業構築力・発問力・作問力) を向上させる。
- ② 日々の課題や休業中の課題の出し方、朝夕課外の在り方、小テスト・対外模試の効果的な活用等を研究し、鍛え、育て、育っていくような「高鍋メソッド」を確立する。
- ③ 同僚性・協働性・OJT の推進による教職員のチーム力を向上させる。  
(担任、部、学年や学科の業務は、目配り・気配り・ワークシェアリングで行う。)
- ④ 教育相談リテラシー、生徒指導リテラシー、進路指導リテラシーを互いに高めあうような学校文化・学校風土を醸成する。